

# 四季の歌

俳句・短歌教室の詠歌紹介

高齢者大学・はな句会

年の暮れ今年一年感謝して  
冬山の陰のかがって木立かな  
肅茶と雨も音なき枯野かな  
箒目の砂紋の流れ散る紅葉  
思ひ出の旅は信州一茶の忌  
日に映えて石路の黄にとぶ蛭蝶  
御仏に真紅の毛帽新らしき  
荒磴を急ぐ人影散紅葉  
キャンパスの冬の怒濤の波しぶき  
鴨の来て隠沼あたり賑やかに  
数人の友との集る冬ぬくし  
華やかな姿眼裏枯芙蓉

池田一步選  
井上サワ子  
福島ソマ子  
馬郡 京子  
熊谷カツミ  
大久保幸子  
日高八重子  
松本みつを  
山本 弘  
香月 眸  
小場 妙子  
高津 澄子  
千手 弘子

福智町金田公民館俳句教室

火のごとき権現山の紅葉かな  
菊月夜仏師の鑿に魂生るる  
犬と猫仲良く眠り冬近し  
秋祭り終へ横笛と眠りけり  
父祖の山譲る子もなく木の実落つ  
海原へ注ぐ大河や天高し  
秋晴の一日惜しみてひと日老ゆ  
生も死も神のみこころ星流る  
秋祭伝統守る親子笛  
かけっこで負けてくやしい運動会小四

岩井鬼童選  
松岡 蒿枝  
建部三由紀  
西田 真美  
岩井 童子  
小川 雪  
桂 啓子  
加藤きみ子  
小野 美幸  
植木 千工  
西田 咲笑

方城句会

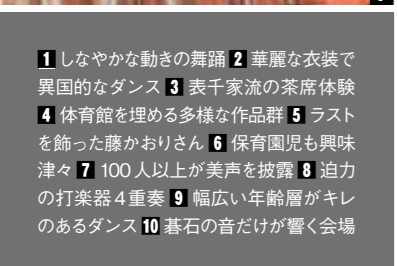
心病む己の愚かさ秋灯下  
猪垣や思ひもよらぬ能古島  
月近し病む人遙か定めとも  
心意気コスモスに見る過疎の村  
友禅の菊水崩し秋の花  
岩影に冬へ標の蘭の花  
薄雲の日の目隠して冬に入る  
一本の柿蒼天を深くする  
鈴響き舞ふて阿国の神迎

池田一步選  
倉石 小夜  
白石 凡子  
杉 フジエ  
長尾 冨子  
藤井耿之介  
山本恵美子  
渡邊 一枝  
尾崎 和子  
木村 誠一

## 福智の風

▶「昔は近所の人で作った野菜を分け合うような付き合いも多かった。作った人の話を聞くと同じ物でも美味しく感じるんよね」と話してくれた梅田さん。そこには作り手の時間と愛情が込められた付加価値がありました。物の価値をお金でのみ判断するのではなく、背景に思いをめぐらせられるか。そのことが人生を豊かにするのだと思います。(日吉)

▶スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋と多様に表現される10・11月。心地よい気候の中、多くのイベントが催されました。何う先々で顔見知りも増え、声をかけてもらえることをうれしく感じています。催しのために熱意や努力をそそぐ多くの人たち。人との輪を広げ、交流を深めたからこそ伝わることを感じ、紹介していきたいと思います。(田代)



## Pickup Topics

### 第11回 福智町文化祭 主催/福智町文化連盟

# 個性魅せる文化の彩

一人ひとりの個性を歌や絵画、舞踊などを様々な形で表現する文化祭。3週間にわたり町をあげて行われた祭典は、芸術深まる秋にふさわしく、町を「文化の色」一色に染めました。



11月3日、文化の日。3千点以上の作品が金田体育館と金田分館に並ぶ「作品展示」で華々しく幕を開けた「第11回福智町文化祭」。2日間、3千人を超えた来場者は、出店も充実した会場で作品の技巧や表現を堪能しました。4日には「歌謡・詩吟発表会」が行われ、45人が自慢のノドを披露。翌日の「ふれあいコンサート」では、歌や演奏など40曲の美しい音色が会場に響きました。11日・12日は舞台を地域交流センターに移し「芸能発表会」を開催。ダンスや日舞、民謡を幅広い年齢層が披露しました。最終日の19日には中央公民館で「開基大



↑昨年に引き続き大人気だった商工会主催の「福天似顔絵大会」。参加した43人が特徴を捉えながら思い思いに町のマスコットを描きあげました。福天と触れあう姿も多く見られ、子どもたちが体験企画に親しむきっかけとなりました。

会」が行われ、盤上で静かな熱戦を展開。試合を終えた参加者も足を止め、戦いの行方を見守りました。自分を表現する場として、回を重ねるごとに定着した文化の祭典。一人ひとりの文化に彩られ、3週にわたって活況をリレーしました。

写真が語る 福智の 写真館  
練り歩く山笠  
撮影日●不明  
撮影場所●金田新町商店街

人形師の手で合戦絵巻を表した華やかな装飾が施され、新町商店街を勇壮に練り歩く山笠。写真からも伝わる活況は、五穀豊穰・無病息災の祈りとともに次代に受け継がれています。

昔の写真を探しています!  
圓本庁2階広報・広聴係  
☎22-7766